

交流センター整備事業の経過について

平成19年3月議会	設計委託費予算を提案し可決
6月	公募プロポーザルにより山下設計に委託契約
平成20年3月	実施設計完了
平成20年3月	耐震改修判定申請 (株)ERI
平成20年6月～	耐震改修判定の審査が開始される
平成20年8月	市町村会館閉鎖
8月19日	入札告示(入札予定9月25日)
8月25日	入札の中止

(中止の理由)

建築確認申請の許可予定日(9月25日)に合わせて、入札を計画し公告を行っていたが、耐震改修判定において新たな課題が生じ、この対応に時間を要するようになり、予定期日までの建築確認申請済みの許可が見込まれなくなり、再度図面を精査し発注し直すこととしたため。

以後耐震改修判定の審査会が随時開催される。(都合8回)

(市は山下設計と協議の上、躯体工事の増工により、建築面積の減、仕上げ材等の質の変更、別途工事への移行などにより、設計額の調整を指示)

平成21年1月14日	耐震改修判定評価書受領
1月15日	建築確認申請書を福岡県に提出
1月16日	入札告示

(入札告示後の質疑応答の段階で杭の本数について図面と参考数量に違いがあることが判明する。)

2月17日 入札 不落(交流センター1) 中止(交流センター2)

(不落の理由)

交流センター1については、入札書提出期限までに入札書1件(他の業者は辞退)が郵送されてきたが、予定価格に達しなかったため。差額175百万円

3月4日	議会へ入札に関する経緯について説明
3月6日	福岡県から建築確認申請が許可される

以後、入札に参加した業者から見積もり等について聞き取り調査を行う。

- ・質疑応答の他に積算落としがないか調査するように指示をする
- ・業者ヒヤリングを基に全体の設計見直し調査を指示

八女市は、地域交流センターの工事費については20億円の枠の中でコンバージョン工法により実施することを議会や市民に約束してきたが、耐震判定の結果この予算の範囲内での実施が難しくなった。大規模改修で実施するより同じものを新築で建てた方が安くつくとの意見があるのも事実。新築で実施した場合についての山下設計から提案は別紙のとおりです。